

なぜ合唱祭を中止しなかったか

広島大学附属小学校 梅比良麻子(うめひらあさこ)

事例報告 | (|4:|0~|4:30)

通常の合唱祭

【時期】11月中旬 (土) 保護者来校

【場所】中高講堂・・・被爆建物

【内容】下学年の部・・・6クラス、PTA、中高、全体

上学年の部・・・・6クラス、学年合唱、PTA、中高、全体







新型コロナウイルス対策

- ・活動の制限 → 距離を取ったり、短時間で行ったりする難しさ
- ・活動の中止 → 代替となる活動を用意する負担

- ▲考え方や心の持ち方を「適応させる」「持ち直す」ことへのストレス
- ▲練習すればするほど、中止になった時の落胆は大きい。

く代替案>

教員:妥当な案。

音楽科の 学習発表 として、 Google Classroomに動画をアップし、 家庭で鑑賞する。

学校目標〈自主·協同·探求〉

- 〇合唱祭の取組に積極的に参加することができる。〈自主〉
- ○学級や学年の友達と協力し、合唱をつくりあげる喜びを体験し、達成感を味わ うことができる。<協同>
- ○学級や学年の練習、および他学級や他学年の合唱の鑑賞を通して、よりよい合唱表現を追究することができる。<探求>

きっかけ

子どもの声 「えー!?みんなと一緒に見たいんじゃん!」

「一緒に」の意味

- ◎同じものを見て聴いて感じて分かち合う
- ◎身体が傍にある

合唱祭の価値:体温・空気感・存在感も味わう

その「場」を味わう

本来の合唱祭の目標〈自主・協同・探求〉

- ○合唱祭の取組に積極的に参加すること ができる。〈自主〉
- ○学級や学年の友達と協力し、合唱をつくりあげる喜びを体験し、達成感を味わっことができる。<協同>
- ○学級や学年の練習、および他学級や他学年の合唱の鑑賞を通して、よりよい合 「**電表現を追究**することができる。〈探求〉

合唱鑑賞会の目標

○他クラス,他学年の合唱の鑑賞を通して,それぞれの表現の良さを見つけ, **互いの**合唱に取り組む**姿勢を認め合う**。

合唱鑑賞会 12月18日(終業式)

【本来の合唱祭に近づくように】

- ・司会、挨拶、楽曲紹介は、生放送
- •••臨場感•一体感

・大きな画面、良い音響で。

・・・より良さが感じられるように

【あえて変えよう】

・プログラムは、学年の順番をランダムに

・・・集中力

教員:いいと思う。



始めや終わりの挨拶

私のメッセージ

「マスクをしていても、伝わってくるものを感じよう」

「私達は、みんな、同じ校舎で、それぞれがんばってきた。」



こんな合唱祭も ありだと思いました。 まあとにかく、 なんか、よかったです。

〇〇ちゃんのクラスの歌、 よかったね~

> あのクラスの合唱曲、すごいね。 体育館の中がなんだか不思議な 雰囲気になったよ。

> > 【担任】

子ども達の新たな一面を 見ることができてよかったで す。 【担任】

涙が出ました。子ども達も泣いてた。【担任】

いい話! 【担任】

子どもの声 「えー!?みんなと一緒に見たいんじゃん。

「一緒に」の意味・・・身体・空間・時間

「身体性」(音楽の動きは、常に身体で経験する) 身体で感じる空間こそが音楽的経験の本質的基盤。

山田陽一「響きあう身体 音楽・グルーブ・憑依」春秋社, 2017

〇合唱祭を「中止」と捉えない。空間にこだわり、身体的に味わわせる。

【学校で】

合唱鑑賞会を企画し、学校で友達や先生と一緒に鑑賞し、互いの良さや頑張りを学校全体で共有する。

【家庭で】

Google Classroomを通じて家庭で鑑賞し、子どもの育ちを共有する。



なぜ合唱祭を 中止にしなかったか

広島大学附属小学校 梅比良麻子